



創造する  
都市の  
未来形

第4回 SMFシンポジウム

創造都市

Sapporo

への成功戦略②

Strategy for Sapporo Ideas City

2009年2月7日〔土〕

14時〜17時40分(開場13時30分) / 入場無料

会場：札幌市立大学サテライトキャンパス

札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル5階

主催：札幌メディア・アート・フォーラム(産学官連携活動体)

協賛：財団法人さっぽろ産業振興財団、インターネット・クロス・クリエイティブ・センター

協力：情報文化学会北海道支部、札幌市立大学

後援：北海道経済産業局、北海道、札幌市、札幌市教育委員会

日本クラフトクナイナリ協会北海道地域、札幌アート・デザイン・スクエア

参加申し込み・お問い合わせ先：E-mail: [info@cc.jp.com](mailto:info@cc.jp.com)

TEL: 011-817-8911 | 担当：小林大介・幡谷直穂

# 創造する 都市の 未来形

20世紀のメディア産業構造が大変動する時代にあつて、市民、ユーザーが主導する芸術文化やCGM(市民生成メディア)の可能性は、今、劇的な成長を遂げています。これまで専門職の聖域であった芸術表現から、創造的な市民や学生たちのまちづくりへの参加などは、都市の経験や感情のデザイン領域をどのように変貌させていくのでしょうか? 創造都市の最前線を行く横浜市の現代アートとまちづくりの協同、内外のメディア芸術と地域創成事例の検証、オンライン広告の新たな世界展開が示すブランド構築事例などを通して、都市を創造するメディア芸術の現在とソーシャルメディアと接続する「経験する都市と市民」の可能性を考えます。

2009年2月7日[土] 14:00~17:40(開場13:30) 入場料:無料

会場:札幌市立大学サテライトキャンパス 札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル5階

主催:札幌メディア・アート・フォーラム(産学官連携活動体) 協賛:財団法人さっぽろ産業振興財団 インタークロス・クリエイティブ・センター

協力:情報文化学会北海道支部、札幌市立大学 後援:北海道経済産業局、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、日本グラフィックデザイナー協会北海道地域、札幌アートディレクターズクラブ

## PROGRAM

14:00 開会挨拶

14:10~14:40 基調講演1:創造都市最前線報告

### 横浜市のめざす創造都市とは?

仲原正治氏 横浜市開港150周年・創造都市事業本部創造都市推進課 担当課長

14:40~15:10 基調講演2:創造都市は何をめざすのか

### クリエイティブ・クラスターとソーシャルメディア

岡田智博氏 NPO法人クリエイティブ・クラスター理事長

15:10~15:40 プレゼンテーション

### UNIQLOCK—ユーザー経験のインタラクティブデザイン

田中耕一郎氏 株式会社Projector代表/クリエイティブディレクター

15:40~15:55 休憩

15:55~17:35 パネルディスカッション

### 創造都市は何をめざすのか?

パネラー: 仲原正治氏

横浜市開港150周年・創造都市事業本部創造都市推進課 担当課長

岡田智博氏

NPO法人クリエイティブ・クラスター理事長

田中耕一郎氏

株式会社Projector代表/クリエイティブディレクター

新谷光人氏

札幌市市民まちづくり局企画部長

端 聡氏

美術家/アートディレクター

前田弘志(札幌メディア・アート・フォーラム運営委員)

アートディレクター/デザイナー

コーディネーター:武邑光裕(札幌メディア・アート・フォーラム運営委員)

札幌市立大学デザイン学部教授・附属図書館長

17:35~17:40 閉会挨拶 18:15~ 懇親会(別会場にて/会費制)

参加申し込み・お問い合わせ先: E-mail: info@icc-jp.com TEL: 011-817-8911

担当:小林大介・幡谷真理(インタークロス・クリエイティブ・センター内)



仲原正治(なかはらまさはる)

横浜市開港150周年・創造都市事業本部創造都市推進課担当課長。横浜市役所職員として、福祉、都市再開発事業、横浜美術館、株式会社横浜みなどみらい21などの仕事に従事し、2004年度より横浜市開港150周年創造都市事業本部で創造界隈形成担当としてBankART、ZAIM、急な坂スタジオ、黄金町バザール事業等の支援を行っている。



岡田智博(おかだともひろ)

NPOクリエイティブ・クラスター理事長。ニューヨーク大学大学院School Of Educationを経て、九州芸術工科大学大学院および東京大学大学院学際情報学府を修了。マルチメディアアライアンス福岡、横浜知財・ITクラスターなど、地方から国家プロジェクトまでマルチメディア・コンテンツに関する創造性向上と普及のための事業の立ち上げ、芸術・文化・デザイン産業化のためのインキュベーション活動に携り組んでいる。



田中耕一郎(たなかこういちろう)

1973年生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒。広告制作会社TYOを経て、2004年にProjectorを設立。NIKE「蹴メ」、BEYES表参道ヒルズ店インタラクティブインストールなど、独自のインタラクティブプロジェクトで広く注目を集める。時報表示とダンスムービーを5秒刻みのリズムでループしていく「UNIQLOCK」で、世界三大広告賞(CANNE, NY ONESHOW, Clio)全てでグランプリなど、国内外の広告賞受賞歴も多数。



新谷光人(あらやみつひと)

1978年札幌市職員採用。総合交通対策部、財政部、東区保健福祉部などを経て、2008年から市民まちづくり局企画部長。この間、総務省、北海道庁出向経験あり。道庁勤務経験者による道内市町村職員ネットワーク「るつつの会」を主宰している。



端 聡(はたとし)

美術家/アートディレクター。CAI現代芸術研究所(有限会社クレスト)代表取締役、アートNPO法人S-AIR理事。1960年岩見沢市生まれ、札幌在住。1996年「VOCA/Vision Of Contemporary Art」(東京・上野の森美術館)で奨励賞、バタベスト国際彫刻絵画ビエンナーレ(ハンガリー)で美術教育文化財団賞受賞。2008年北海道立近代美術館開館30周年記念展「Born in HOKKAIDO」に選出される。2004年度、札幌文化奨励賞を受賞。



前田弘志(まえだひろし)

1964年札幌生まれ。北大大学院国際広報メディア研究科修了。パナナムーン・スタジオ代表。インタークロス・クリエイティブ・センターのポスターデザイン他で、韓国国際ポスタービエンナーレ銀賞、ニューヨークADCメリット賞をはじめフランス、フィンランド、ポーランド、チェコ、香港等の国際コンペティションで受賞・入選。実務と並行して札幌のクリエイティブシーンを活性化させる運動も展開。



武邑光裕(たけむらみつひろ)

1954年東京生まれ。日本大学芸術学部専任講師、京都造形芸術大学情報デザイン科助教授、同大メディア美学研究センター所長、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディア環境学分野助教授を経て2006年より現職。専門はメディア美学、デジタル・アーカイブ情報学、創造産業論。著書に「記憶のゆくたて デジタル・アーカイブの文化経済」(東京大学出版会)など。